



KeiganALI ver 1.12 ファームウェア アップデート内容

2025/2/4 株式会社 Keigan



はじめに

この資料は、KeiganALIのファームウェア バージョンV1.12.0を リリースにあたり、既リリースバージョンV1.10.0との差分概要を 記述したものです。





I. KeiganGoPC の変更

- 1. 「状態」→「設定」「自己位置設定」→「現在位置設定」へ変更
- 2. 各種情報を「ホーム画面」に集約
- 3. マニュアル操作ボタンの折り畳み
- 4. 「ホーム画面」に、「電源」追加
- 5. マップ作成起点ボタンの追加
- 6. マップ編集時の表示角度調整

II.タスクの機能追加(API追加)

- 1. タスクセットのアップロード
- 2. タスクセットのダウンロード
- 3. 追加されたタスクセット
- 4. 座標移動の動作仕様変更
- 5. マウスオーバーでのタスクセット説明表示
- 6. 回転タスク 機能追加
- 7. フットプリント変更 注意表示

- 8. ライントレースタスク 機能追加
- 9. 直進タスク機能追加
- 10. 充電タスク 機能追加
- 11. 現在位置設定タスク 機能追加
- 12. MQTT待ち受けタスク 機能追加
- 13. ユーザーサウンドの再生タスク 機能追加
- 14. ライダーフィルタータスク 機能追加
- 15. タスクセット画面での試運転ボタン

III. 管理メニューの変更

- 1. 「状態」→「設定」へ変更
- 2. ユーザーサウンドのトラックを登録
- 3. 走行音のトラックを登録
- 4. ドッキング距離の校正(自動充電)
- 5. 壁際でのライントレースの校正
- 6. 自己位置測位のパラメーター設定





III. 管理メニューの変更

- 7.ライダーフィルター機能
- 8.カメラ画像
- 9.直進ゲイン設定
- 10.速度によるフットプリントスケーリング 11.ログ

IV. その他の変更

- 1. APIドキュメントページの追加
- 2. 推奨MAPサイズの表現
- 3. メンテナンス部品の記述追加



I. KeiganGoPC 変更点

Ver 1.12

1.「状態」→「設定」「自己位置設定」→「現在位置設定」へ変更 🆌 Keigan

各種ALIのデータ表示画面を、ホームページへ移動させたため、KeiganGoPCのメニューを 「状態」から「設定」へ変更。「自己位置設定」を、「現在位置設定」に改称。 デザイン色調を変更(灰色 ➡ 薄い群青色)



2. 各種情報を「ホーム画面」に集約



・V1.10.0において、状態画面ページに、表示していた情報ほか、各種情報を、ホーム画面で一覧表示できるように、変更。 ・①マップ拡大・縮小②LiDAR検出状況③TOF/Cliffセンサ検出状況④コストマップ状況を、表示させるボタンを追加

Ver. 1.10	Ver. 1.12
ホーム ① 17: pahFolow test ④ 0% ● 存版中 AbAu_v1_10_Kaj ● 0% ● 存版中 AbAu_v1_10_Kaj ● 0% ● 存版中 AbAu_v1_10_Kaj ● 0% ● 行版中 Devort 17: patFolow test ● 0% ● 「前田 Devort 100 ● 0% ● 0 ● 0% ● 10 ● ● 10 ● ● 10 ● ● 10 ● ● 10 ● ● 10 ● ● 10 ● ● 10 ● ● 10 ● ● 10 ● ● 10 ● ● 10 ● ● 10 ● ● 10 ● ● 10 ● ● 10 ● ● 10 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	木山 マップ林会 現在位置設在 マップ協会 クスグセット 運用分少協会 政府 政府 日代 1411 (1914) 日代 マジズ名 Ak4f26062 Ak44f26062 Ak4f

2. 各種情報を「ホーム画面」に集約 – 各種情報 <u> Keigan</u>





2. 各種情報を「ホーム画面」に集約 – マップ上に表示 🖌 Keigan

・タスクセット画面でも、同じボタンが、表示され、同じ機能として、はたらきます。











Ver. 1.12

3. マニュアル操作ボタンの折り畳み



マニュアル操作のボタンを、折りたためるように変更 他のページ(タスクセット他)でも、同様



4. 「ホーム画面」に、「電源」追加



電源として、・「ソフト再起動」: ROS再起動 ・「システム再起動」: OS含め、システム再起動を、追加。 *Keigan管理ツール/管理設定のページにも、従来通り、ボタンが残っている

Ver. 1.10以前	Ver. 1.12
<u>しシャットダウン</u>	電源

5. マップ作成起点ボタンの追加



マップ作成時の起点を・左下起点(従来)・センター起点の切替ボタン追加



6. マップ編集時の表示角度調整



・「表示角度調整」ボタンを追加

・登録する地図の向きを変更可能

	Ver. 1.10			Ver. 2	l.12	
1 形状の修正	⊘ 走行不可領域	🕜 減速エリア	🏹 形状の修正 📿	走行不可領域	🕜 減速エリア	♀ ランドマーク
ランドマーク	 現在位置を設定 		 現在地を設定 			 表示角度調整

6. マップ編集時の表示角度調整



・「表示角度調整」ボタンを追加

・登録する地図の向きを変更可能







II.タスクの機能追加

Ver 1.12

1. タスクセットのアップロード



Json形式で記述されたタスクセットをダウンロードできるようにしました。



- 手順
- 1. 「アップロード」をクリック(①)
- ローカルPCのフォルダ、Jsonファイル形式のタスクセットを 選択して開くをクリック(②)

2. タスクセットのダウンロード



Json形式で記述されたタスクセットをアップロードできるようにしました。



🛓 ダウンロード		× +	—	
$\leftarrow \rightarrow$	↑ C	\square >	ダウンロード	4 Q
⊕ 新規作成 ∨	*	0		⑦ プレビュー
名前				ł
∨今日 i cmdSet-263.j	son 3			

手順

- 1. 「歯車」をクリック(①)
- 2. ダウンロードをクリック(②)
- 3. ローカルPCの「ダウンロード」フォルダに、ダウンロードされます。(③)

3. 追加されたタスクセット



①「MQTTメッセージの待ち受け」②「ユーザーサウンドを再生」③「ライダーフィルター」 ④自動充電⑤現在位置設定

Ver. 1.10	Ver. 1.12
 座標移動 座標移動 室時間待機 一時停止 GPIO入力待ち GPIO出力 MQTTメッセージの送信 ライントレース 回転 直進 音声再生 電源出力 フットプリント変更 陸書物センサー切替 最大速度変更 	 座標移動 <u>庄総移動</u> 年時間待機 - 時得止 GPIO入力待ち GPIO出力 MQTTメッセージの送信 MQTTメッセージの待ち受け ライントレース 回転 直進 音声再生 ユーザーサウンドを再生 電源出力 フットブリント変更 障害物センサー切替 最大速度設定 ライダーフィルター 目動充電 現在位置設定



V1.10.0の「停止なし」モードを、「自動回避」と「指定した幅まで回避」に機能分割

Ver. 1.10	Ver. 1.12
〇 P 座標移動 X:0.046Y:0.0110:0.000 現在位置 適用 名称: D. Eを無視: 通過点: アナウンス 開始: ※ 死了: ご F-ド: 障害物で停止 ● ● ● ② ③ ③ ③ ③ ③ ② ② ② ○ ○ ● ●	Ver. 1.12 〇 ● 座標移動 ② X:1.24105Y:-5.1990:0.166 現在位置 ③用 名称: 向きを無視: ③ 通周 名称: 向きを無視: ④ 通周 名称: 向きを無視: ● 通過点: 市法停止: 高速回転: □ アナウンス 開始: ● 終了: ● 障害物: 指定した幅まで回遊 □ 1250* Netercontext context mutative 正常に動作しない 可能性があります。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	^



V1.10.0の「停止なし」モードを、「自動回避」と「指定した幅まで回避」に機能分割

Ver. 1.10	Ver. 1.12
〇 P 座標移動 X:0.046Y:0.0110:0.000 現在位置 適用 名称: D. Eを無視: 通過点: アナウンス 開始: ※ 死了: ご F-ド: 障害物で停止 ● ● ● ② ③ ③ ③ ③ ③ ② ② ② ○ ○ ● ●	Ver. 1.12 〇 ● 座標移動 ② X:1.24105Y:-5.1990:0.166 現在位置 ③用 名称: 向きを無視: ③ 通周 名称: 向きを無視: ④ 通周 名称: 向きを無視: ● 通過点: 市法停止: 高速回転: □ アナウンス 開始: ● 終了: ● 障害物: 指定した幅まで回遊 □ 1250* Netercontext context mutative 正常に動作しない 可能性があります。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	^



V1.10.0の「停止なし」と、V1.12.0の「自動回避」は、同機能

Ver. 1.10	Ver. 1.12
 ● ● 座標移動 X:-0.690Y:-0.0770:0.132 現在位置 項在位置 面書を無視: 通過点: 名称: ロ言を無視: 通過点: アナウンス 開始: 経了: モード: 停止なし ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	 ○ ■ 座標移動 ? X:1.24116Y:-5.1990:0.166 現在位置 福森: 向きを無視: 通過点: 高速停止: 高速回転: アナウンス 開始: 終了: ※ ○ ()



V1.12.0の「障害物で停止」は、V1.10.0の「停止なし」で、「一定の幅の障害物を 回避する」のチェックボックスをOFFにした状態と、同機能

Ver. 1.10	Ver. 1.12
 ○ ■ 座標移動 ② X:1.24116Y:-5.1990:0.166 現在位置 適用 名称: 向きを無視: ● 通過点: □ 高速停止: □ 高速回転: □ アナウンス 開始: ● 終了: ● ○ ◆ ◆ ◆ ○ ○ 	0 P 座標移動 X:-0.046Y:-0.011 0:0.000 現在位置) 適用 名称:

4. 座標移動の動作モード変更



V1.10.0では、「障害物で停止」した後、幅を指定して、リカバリールートを、探索していたが、V1.12.0では、指定された幅内にて、回避行動を行い、座標移動

Ver. 1.10	Ver. 1.12
陸害物: 指定した幅まで回避▼ 幅: 1 (メートル)「幅: 1.0メートル以上」 回避できない場合のルート変更: 1辺50メートルを超えるマップでは使用しないでください。正常に動作しない 可能性があります。 ↓ ↓ ↓ ↓ ♪ ♪ ♪ ♪	モード: 障害物で停止▼ 一定の幅の障害物を回避する: ▼ 幅: 2 m (幅: 1.0m 以上) リカバリのルート変更: □ 1辺50mを超える地図では使用しないでく ださい。正常に動作しない可能性があり ます。



V1.10.0での表現は、「タイムアウト」、V1.12.0での表現は、「ルート変更までの待機利数」

Ver. 1.10	Ver. 1.12
 座書物: 指定した幅まで回避▼ 幅: 1 (メートル)「幅: 1.0メートル以上」 回避できない場合のルート変更: 2 ルート変更までの待機秒数: 0 (秒) 1辺50メートルを超えるマップでは使用しないでください。正常に動作しない 可能性があります。 	 モード: 障害物で停止▼ 一定の幅の障害物を回避する: 幅: 2 m (幅: 1.0m 以上) リカバリのルート変更: タイムアウト: 0 秒 1辺50mを超える地図では使用しないでください。正常に動作しない可能性があります。 タイムアウト: 0 秒

5. マウスオーバーでのタスクセット説明表示



・V1.10.0では、機能説明を、表示していたが、V1.12.0では、「?」をマウスオーバーすると 表示される。 ・他の「?」マークも同様

Ver. 1.10	Ver. 1.12
 0 ○ 一定時間待機 次のタスクの実行を一定時間待機する (秒) 	0 <u> </u>

6. 回転タスク 機能追加



・V1.10.0では、単なる「回転」に関する機能であったが、V1.12.0では、「衝突を許可」「障害物でタイムアウト」の機能を、追加。 ・ユースケースとしては、カーテン等の、軽負荷の障害物を想定。

・「衝突を許可」: ALIが、その障害物を、無視して、指定された回転角まで、回転動作行う

・「障害物でタイムアウト」: ALIが障害物で停止後、約10秒でエラー状態へ移行する

・本機能は、あくまでも、顧客リスク動作。

Ver. 1.10	Ver. 1.12
● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	 0 ○ 回転 ② 方向: CW(時計回り) ▼ 角度: 0 (度) 回転速度: 0 (度 / 秒) 衝突を許可: □ 障害物でタイムアウト: □
	 衝突を許可: ■ 衝突を許すと AMR や周囲の環境にダメージを与える可能性があります。安全のため、AMRは障害物に運動して指定の回転角度を終えるまでゆっくり回転します。注意してご使用ください。 障害物でタイムアウト: ■ ・ ・<

7. フットプリント変更 注意表示



・V1.10.0では、「フットプリント変更」で、「本体サイズ...」に、チェックをいれるとメッセージボックスが、開いていたが、V1.12.0では、事前に赤色で、注意メッセージが表示される。



8. ライントレースタスク 機能追加



・V1.10.0の「交差点で停止」「距離で停止」機能に加えて、TOFセンサにて、ALI前面の障害物(壁)を検出し、設定された距離「壁際で停止」機能を追加。

・オプションである「台車連結モジュール」との連結をより、確実に実行できるように、ライトレースの速度を、0.01m/sまで、設定可能に変更。 ・台車等にて、ALIのフットプリントを、大きくしている場合に、「壁際で停止」機能を、使用する場合は、フットプリントサイズを、オリジナルのALI に戻して、壁までの距離を設定必要。(その際に、台車の大きさを、考慮必要)

Ver. 1.10	Ver. 1.12
 ● 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 ● 「 ライントレース ? モード: 交差点で停止 速度: 交差点で停止 正離で停止 アナウンス 壁際で停止

9. 直進タスク 機能追加



- ・V1.10.0の「前進」「後退」機能に加えて、V1.12.0では、「衝突を許可」「障害物でタイムアウト」の機能を、追加。
- ・ユースケースとしては、カーテン等の、軽負荷の障害物を想定。
- ・「衝突を許可」: ALIが、その障害物を、無視して、指定された距離まで、前進もしくは、後退動作行う
- ・「障害物でタイムアウト」:ALIが、その障害物で停止した場合、ALIが障害物で停止後、約10秒でエラー状態へ移行する ・本機能は、あくまでも、顧客リスク動作となる。



10. 充電タスク 機能追加



・V1.10.0では、「自動充電」機能は、サポートしていないが、V1.12.0でサポート。

・ALIを、充電ステーションの前に、移動させ、「充電ステーションの位置を取得」をクリックすると、充電ステーションの位置(座標)を、自動取得 ・「充電ステーションに移動する」を選択で、ALIが自動的に、充電ステーションヘドッキングする。

・「充電ステーションから離す」を選択で、充電ステーションにドッキングしているALIが、充電ステーションから、70cmほど、直進して、離間する。 ・ドッキング中には、「充電ステーションから離す」タスクのみ受付可能

Ver. 1.10	Ver. 1.12
非サポート	 ● 自動充電 ● モード: 圧電ステーションに移動する × エーズーションに移動する ス: エーズロステーションから離す Y: ● ● ● ● ● ● ● ● ■ ■
	0 1 自動充電 ? モード: 充電ステーションから離す ▼

11. 現在位置設定タスク 機能追加



・V1.10.0では、「現在位置設定」機能は、サポートしていないが、V1.12.0でサポート。

・設定地点としては、現在位置もしくは、ランドマークにて、設定されている地点を、選択可能。

・ユースケースとしては、ラントレース等の停止位置(マップに対する座標が確定する位置)にて、ALIの現在位置を、再設定する。 (大きい工場等で、ALIが自己位置ロストしやすい場合に、有効)

Ver. 1.10	Ver. 1.12
非サポート	● 現在位置 現在位置 ● 日目TaceSlatt ● 0.00900161 ●

12. MQTT待ち受けタスク 機能追加



- ・V1.10.0では、「MQTTメッセージの待ち受け」機能は、サポートしていないが、V1.12.0でサポート。
- ・「不特定メッセージ」もしくは、「特定メッセージ」で有効を、選択可能。
- ・待ち受けのタイムアウト時間も、設定可能。
- ・ユースケースとしては、ALIから、オプションであるGPIO bridgeとの連携が可能となる。

Ver. 1.10	Ver. 1.12
非サポート	 ● ■ MQTTメッセージの待ち受け ② モード: 不特定メッセージマ タイムアウト: ● (秒)「Dはタイムアウトしない」 ● ■ MQTTメッセージの待ち受け ③ モード: 特定メッセージ ▼ 着信メッセージ
	タイムアウト:0 (秒)「0はタイムアウトしない」

13. ユーザーサウンドの再生タスク 機能追加



・V1.10.0では、「ユーザーサウンドの再生」機能は、サポートしていないが、V1.12.0でサポート。

・1から20のトラックを、登録可能。

・設定可能なサウンドファイル「WAV形式(.wav, リニアPCM, 24bit 44100Hzまたは48000Hz)で再生時間が10秒未満の音声ファイル」

・管理ツール→マシン設定→ユーザーサウンドで、登録。(別項目に、記載)

Ver. 1.10	Ver. 1.12
非サポート	 ● コーザーサウンドを再生 ● トラック: ●1:トラックがありません ●2:トラックがありません ●2:トラックがありません ●3:トラックがありません ●4:トラックがありません ●5:トラックがありません ●5:トラックがありましん ●5:トラックがありましん ●5:トラックがありましん ●5:トラックがありましん ●5:トラックがありま

13. ユーザーサウンドの再生タスク 機能追加



・V1.10.0では、「ユーザーサウンドの再生」機能は、サポートしていないが、V1.12.0でサポート。

・1から20のトラックを、登録可能。

・設定可能なサウンドファイル「WAV形式(.wav, リニアPCM, 24bit 44100Hzまたは48000Hz)で再生時間が10秒未満の音声ファイル」

・管理ツール→マシン設定→ユーザーサウンドで、登録。(別項目に、記載)

Ver. 1.10	Ver. 1.12
非サポート	 ● コーザーサウンドを再生 ● トラック: ●1:トラックがありません ●2:トラックがありません ●2:トラックがありません ●3:トラックがありません ●4:トラックがありません ●5:トラックがありません ●5:トラックがありましん ●5:トラックがありましん ●5:トラックがありましん ●5:トラックがありましん ●5:トラックがありま

14. ライダーフィルタータスク 機能追加



・V1.10.0では、「ライダーフィルター」機能は、サポートしていないが、V1.12.0でサポート。

・1から8のエリアを、登録可能。

・ユースケースとしては、顧客設計の台車の脚を「ライダーフィルター」機能で、無効化

・実使用に際しては、事前に、十分に確認の上、ご使用ください。

Ver. 1.10	Ver. 1.12
非サポート	<complex-block> P: Operation 0 P: Operation 0</complex-block>

15. タスクセット画面での試運転ボタン



マップ上に、試運転ボタン追加

詳細は、「【1118】ALI_ユーザーマニュアル_v1_12_0 .pdf」の「14.8.8 試運転 p.98」を参照ください。

Ver. 1.10	Ver. 1.12
非サポート	
	地図上に、表示されているボタン・でもタスクセットを、実行できます。 再生中は、・ボタン、・ボタンが表示されタスクセットを一時停止、停止することがで きます。



III. 管理メニュー 変更点

Ver 1.12

1. 「状態」→「設定」へ変更



- ・V1.10.0では、「状態」メニューであったが、V1.12.0では、「設定」メニューに名前変更。 ・言語設定機能追加 (日本語、英語) ・「ソフトウェア (ROS)再起動」、「システム(システム全体)再起動」、「システムシャットダウン」ボタン追加
- ・各種センサ、LiDAR等の情報画面は、「ホーム」画面へ移動

Ver. 1.10		Ver. 1.12	
 木−ム マップ作成 自己位置設定 マ マシン名 パッテリー発電(%) 現在位置 第行中のタスクゼット パードウェア接続状態 厚書物センサー 	9.7 通転 20.7 20.7 20.7 20.7 20.7 20.7 20.7 20.7	設定 18: 2050 134:shtmap21 9% 1 正語: 日本語 ・ リフトウェア再起動 「ROS 再起動」 ・ システム再起動 c 再起動 システムシャットダウン システムシャットダウン	
GPIOステータス Lidar	Transition Control Contro	<u>ゆ</u> シャットダウン	

2. ユーザーサウンドのトラックを登録



・1から20のトラックを、登録可能。

・設定可能なサウンドファイル「WAV形式(.wav, リニアPCM, 24bit 44100Hzまたは48000Hz)で再生時間が10秒未満の音声ファイル」 ・タスクセット「ユーザーサウンドの再生」にて、再生可能

Ver. 1.10	Ver. 1.12
非サポート	ユーザーサウンド **No(1-20) ときた きカフィルをアップロードしてください。 **No(1-20) ときは 440001とまたは480001とりで再生時間が1000未渡っき市ファイルのみアップロード可能です。 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

3. 走行音のトラックを登録



・走行音を、登録可能。

・設定可能なサウンドファイル「WAV形式(.wav, リニアPCM, 24bit 44100Hzまたは48000Hz)で再生時間が10秒未満の音声ファイル」

Ver. 1.10	Ver. 1.12
非サポート	た行音変更 ※MR度行時に再生される患行音を変更します。 ※WMR度式(waw, リニアPCM, 2484 44100Hz)定行是時間近份分未満の音声ファイルのみアップロード可能です。 プラウス アップロード済みの定行音: carpass wav 今再読込 ● 解除

4. ドッキング距離の校正(自動充電)



・ALI個体のLiDARで測定される距離をキャリブレーション

・ALIと充電ステーションをドッキングした状態(ただし、チャージャーのプラグは、抜いておく)で「自動調整」ボタンをクリック→自動的に、校正値が設定される。 ・校正値に、手動で、数値を入力し、「手動設定」ボタンでも設定可能(非推奨)

Ver. 1.10	Ver. 1.12
非サポート	ドッキング距離の校正 *AL とドッキングステーションの位置を正しく合わせ、「自動調整」ボタンを押して距離を校正してください。 校正値: -13 (mm) ✓自動調整 手動設定(ペター版)

5. 壁際でのライントレースの校正



・ALI個体のTOFセンサ(フロント側3か所)で測定される距離をキャリブレーション
 ・ALIと壁を一定距離(停止しようとしている)離した状態で、その距離を、「壁からの距離」に入力後、「自動調整」ボタンをクリック
 ●自動的に、校正値が設定される。

・壁としては、光が透過しない十分な遮光性をもつ素材が必須。

Ver. 1.10	Ver. 1.12
非サポート	壁際でのライントレース ※「節軟斑」を無物にし、左向の薄着物センサーのオフセットを手動で設定する。 ⑥ 節軟斑 左端着物センサーオフセット (mm) 48 右端着物センサーオフセット (mm) 4.1 愛からの距離 (mm) 0 / 自動調整

6. 自己位置測位のパラメーター設定



・V1.10.0では、「高・通常」の設定であったが、V1.12.0では、自己位置(コーシー)パラメーターの上限/下限を、設定できるようにした。 ・市場実績より、デフォルト値は、Max: 0.5, Min: 0.15。

・自動運転の挙動が変化する場合があります。必要に応じて、マップの再作成を行ってください。

・設定の目安:-デフォルト: 厳密性Min:0.15、厳密性Max:0.5「デフォルト値に素早く設定するには、リセットボタンを押してください。」 ・変更後は[設定]を押して下さい。

Ver. 1.10	Ver. 1.12
自己位置測位のパラメータ ※ 変更後、ALI を再起動してください。 ※ 自動運転時の挙動が変化する場合があります。必要に応じて、マップの再作成を行って下さい。 廠密度 高	自己位置則位のパラメータ ※登録、A10 年現録してください。 ※認定意味の学動が変化する場合があります。必要に応じて、マップの再作成を行って下さい。 **認定意味のできい。 **認定意味のできい。 **認定情知 *** **認定情知 *** **認定情知 *** ***ごとい。 **ごという **認定情知 *** **** ***** ****** ******* ******** ********* ************* ************************************

7. ライダーフィルター機能



- ・V1.10.0では、「ライダーフィルター」機能は、サポートしていないが、V1.12.0でサポート。
- ・1から8のエリアを、登録可能。
- ・ユースケースとしては、顧客設計の台車の脚を「ライダーフィルター」機能で、無効化
- ・実使用に際しては、事前に、十分に確認の上、ご使用ください。(現在位置推定精度とのトレードオフとなります。)
- ・スライドバーで、LiDARの表示画面の拡大、縮小可能
- ·設定角度は、「-90°~270°/ALI正面; 0°」
- ・管理メニューで設定されたライダーフィルターは、常時設定となる。

Ver. 1.10	Ver. 1.12		
非サポート	<section-header>D4D-2D4D-BCB4BABPAD-2D4D-BCB4BABPAD-2D4D4D4BCB4PAD-2D4D4BCB4PAD-2D400400000000000000000000000000000000</section-header>		

8. カメラ画像 – フルカラー画像

🖌 Keigan

・注意コメント 追加 ※HSV設定の場合は、カメラ画像を「ライントレースマスク」に設定してください。 ※ライントレース検出範囲を色で確認するには、カメラ画像を「ライントレース検出範囲」に設定してくだい。



Ver. 1.12

カメラ映像 フルカラー映像 ・

※HSV設定の場合は、カメラ画像を「ライントレースマスク」に設定してください。 ※ライントレース検出範囲を色で確認するには、カメラ画像を「ライントレース検出範囲」に設定してくだい。



ホワイトバランス調整



※ホワイトバランス調整は、「自動調整」ボタンで露出を自動で調整する機能です。
※実施する場合は、「グレーカード」でカメラの視野全体をカバーしてから「自動調整」ボタンを押してください。
※グレーカードがない場合は、灰色の壁や紙などで代用できます。

8. カメラ画像 – ライントレース範囲



・注意コメント 追加 ※HSV設定の場合は、カメラ画像を「ライントレースマスク」に設定してください。 ※ホワイトバランス調整の場合は、カメラ画像を「フルカラー映像」に設定してくだい。

Ver. 1.10	Ver. 1.12
カメラ映像「ライントレース検出範囲>」	カメラ映像 ライントレース検出範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

8. カメラ画像 – ライントレース範囲



・緑の数字は、ALIが、白と認識している画素数。(交差点で停止判定: ≥20,000)

・注意コメント 追加

※ホワイトバランス調整の場合は、カメラ画像を「フルカラー映像」に設定してくだい。

※ライントレース検出範囲を色で確認するには、カメラ画像を「ライントレース検出範囲」に設定してくだい。

Ver. 1.10	Ver. 1.12
カメラ映像 ライントレースマスク 、	カメラ カメラ映像 (ライントレースマスク 、) ※ホワイト/(ランス調整の場合は、カメラ画像を「フルカラー映像」に設定してくだい。 ※ライントレース検出範囲を色で確認するには、カメラ画像を「ライントレース検出範囲」に設定してくだい。 9364

8. カメラ画像 – HSV調整



・ラインテープの標準色(青)以外に、黄色のテープに対して、色調整ができる機能を追加 (黄色・青色それぞれの場合の設定ボタン追加)
・H (Hue, 色相)/S (Saturation, 彩度)/V (Value, 明度)

Ver. 1.10	Ver. 1.12					
非サポート	ライン検知 HSV/ ※ライントレースの対象となる ※スライダーを現象して、「役 ※(間)と(剤)ボタンを押すと、 h_min 90 (0-179) h_max 130 (0-179) s_min 64 (0-255) s_max 255 (0-255) v_min 20 (0-255) v_max 255 (0-255)	シーンパベル (Love life) とおかくひんど: 同じていた、(KSV (Decharding and Rest)) メランパレースの対象となるラインテーズの他について、(KSV (Decharding and Rest)) メランパレースの対象となるラインテーズの他について、(KSV (Decharding and Rest)) メランパレースの対象となるラインテーズの他について、(KSV (Decharding and Rest)) メーンパレースの対象となるラインテーズの他について、(KSV (Decharding and Rest)) トリーロー (マンパレース) (水) (Decharding and Rest) (マンパレース) (マンパレース) (マンパレース) (ローロ) (ローロ)			 Note: HSV色空間は、色を表現するための一つの方法で、「H: 色相 (Hue)」「S: 彩度(Saturation)」「V: 明度(Value)」の3つの要素 で色を定義するものです。 ※色相(Hue): 色の種類を表し、赤、緑、青など具体的な色を指します。色相 は0~179の値で設定可能です。色相の値が空わると、見える色が空わりま す。実際には、環境の変化に対応するため、対象とする色を含む範囲で設定 する必要があります。そのため、h_min, h_max をそれぞれ領域の最小値、 最大値として設定します。 ※彩度(Saturation): 色の鮮やかさを表し、0 から 255 の範囲で設定できま す。彩度が高いほど色は鮮やかになり、低いほど灰色に近くなります。彩度 が0の場合、色は灰色となり、彩度が 255 の場合、色は最も鮮やかになり ます。s_min, s_max をそれぞれ領域の最小値、最大値として設定します。 ※明度(Value): 色の明るさを表し、0 から 255 の範囲で設定できます。明度 が高いほど色は明るく、低いほど暗くなります。明度が 0 の場合、色は完全 に黒となり、明度 255 の場合、色は最も明るくなります。v_min, v_max を 	
	設定値例:	HSV設定	青 (デフォルト 推奨)	黄		それぞれ領域の最小値、最大値として設定します。
		h_min	90	10		Tips:
		h_max	130	40		※うまく調整できた場合は、ラインテーブの領域とそうでない領域を明確に
		s_min	64	0		分離することかできるようになります。 ※同じラインテープであっても、周囲の環境光や床の色の影響で、調整した
		s_max	255	255		方が良い場合があります。
		v_min	20	145		※特に、西日などの環境光でラインロストする場合は、「白色LEDの前照灯 を付ける」、「西日が入らないようにする」などで対応してください。
		v_max	255	255		※赤や緑など他の色は環境光と混同しやすいため、推奨しません。

8. カメラ画像 – ホワイトバランス調整



- ・ホワイトバランス調整は、「自動調整」ボタンで露出を自動で調整する機能です。
- ・実施する場合は、[グレーカード] でカメラの視野全体をカバーしてから 「自動調整」ボタンを押してください。
- ・グレーカードがない場合は、灰色の壁や紙などで代用できます。
- ・ALIのLED光が、映り込まないように、テープ等にて、遮光した状態で、実行ください。
- ・照明、外光等の影響を除去し、カメラから見えているグレーチャートが、均一濃淡であることを、確認して実行してください。
- ・調整後、各画像が、正常であることを、確認ください。
- ・リセットボタンを、クリックすると、工場出荷時に、戻ります。

Ver. 1.10		Ver. 1.12
非サポート	<section-header><section-header><section-header></section-header></section-header></section-header>	<complex-block><complex-block><section-header></section-header></complex-block></complex-block>

9. 直進 ゲイン設定



直進時のゲイン設定を追加

詳細は、「【1118】ALI_ユーザーマニュアル_v1_12_0.pdf」の「17.4.8.7 直進ゲイン設定(V1.12.0 以降) p.166」を参照ください。

Ver. 1.10	Ver. 1.12
非サポート	 ・ 「 ・ 「 ・ 「

10. 速度によるフットプリントスケーリング



速度によるフットプリントスケーリングのパラメーター設定追加

詳細は、「【1118】ALI_ユーザーマニュアル_v1_12_0 .pdf」の「17.4.5 速度によるフットプリントスケーリング p.158」を参照ください。

Ver. 1.10	Ver. 1.12				
非サポート	建度によるフットプリントスケーリング *scaling_speed (x - co値を抱えると、スケーリングが漁用される略値です。 *scaling_speed (m/s) 0.25 *smax_scaling_factor (x 現在速度によってフットプリントをスケーリング (拡大) するための値です。 -約えば、マシンの最大速度の際には、max_scaling_factor がそのまま漁用されます。 max_scaling_factor (x) 1.0 *stack scaling_speed が 0.25 m/s max_scaling_factor が 1.0x の場合、以下の表のようになります。 *stack (m/s) フットプリント (信) 0.25 m/s 1.0x 0.375 m/s 1.5x 0.5 m/s 2.0x				

11. ログ – ROSログ



・「Show logs」ボタンを、クリック後、必要な個所を、分割ダウンロードできるように、変更



11. ログ – 自己位置スコア



- ・NRMSEの値と、色の対照を追加(NMSEが小さいほど、モデルの予測が実際の値に近い)
- ・自己位置ロストが、多く、自己位置スコアも悪い場合、地図を、再作成すると改善する場合が、あります。
- ・移動物が多い等の場所は、自己位置スコアが悪い状態で、表示されます。

Ver. 1.10	Ver. 1.12
自己位置スコア 現在のマップ: 179:0624testMap211 再読込 計測プロック数:0	現在のマップ: 181:20260613testMap211

11. ログ – リソースの使用率



ログメニューに、リソースの使用率を追加 詳細は、「ALI_ユーザーマニュアル_v1_12_0.docx」の「17.7.6 リソース使用率 p.180」を参照ください。

Ver. 1.10	Ver. 1.12					
	新作業 パッテリーロ ROS ロ Sys ロ 代表エラーロ リソース映解 B2代表ユコ Rusのリソース映解 リソース使用集 リソース使用集 ロンース使用集 アレース使用集 アレース使用集 Source S					



IV. その他 変更点

Ver 1.12

1. APIドキュメントページの追加



ALIのREST APIについてのドキュメントを掲載(英語のみ)

詳細は、「【1118】ALI_ユーザーマニュアル_v1_12_0.docx」の「18 APIドキュメントメニュー p.184」を参照ください。



2. 推奨MAPサイズの表現



・記載の内容で、リリース予定。

Ver. 1.10	Ver. 1.12
MAP 推奨最大サイズ MAP の推奨最大サイズは、100×100mです。それ以上 で、ご使用される際は、問い合わせをお願いします。	MAP 推奨最大サイズ KeiganAliのリソース制約上から試算した MAP の推奨最大サイズは、100×100mです。(ただし、現場の状況、使用方法等により、変化します。)それ以上で、ご使用される際は、問い合わせをお願いします。

3. メンテナンス部品の記述追加



・メンテナンス部品の記述を追加

Ver. 1.10	Ver. 1.12	
記載なし	20.6 メンテナンス部品 KeiganALI を安全にお使いいただくために以下の部品は定期的にメンテナンス交換を行って ください。	



ありがとうございました。